

1. 学部・学科の概要と履修モデル

カリキュラム編成の考え方について

総合情報学部

総合情報学部では、「情報」に基づく、社会課題の解決、情報システムの設計・構築・運用、経営課題の解決、に必要となる態度や志向性、汎用的な技能、専門的な知識・理解、これらを統合して創造的に活用する力を修得することを目指しています。

学位授与を実現するために、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」という建学の理念を踏まえ、専門科目の土台であり問題解決の手段となる数理・データサイエンス・AIを学ぶ科目を設け、それぞれの学科の卒業認定／修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った専門科目を配置します。これらの中には、主体的な学びの進め方、幅広い視野、高い倫理観を培う教養教育科目、コミュニケーションとプレゼンテーション能力を養うための演習科目や卒業研究などが含まれます。これが本学部のカリキュラムポリシーです。

各学科に配置されている具体的な科目は、各学科のカリキュラムポリシーに基づいています。1年次には、いずれの学科にも、ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ（前期・後期）があります。これは、大学での生活や学習にスムーズに移行できるように「大学生としての学びの技法」を習得するための科目で、全員に履修して頂きます。

4月にはスタートアッププログラムがあり、履修に関するガイダンスを聞くことができます。

医療情報学部

医療情報学部は、2013年（平成25年）に設置された学部です。学部は医療情報学科の単学科で構成され、2専攻・4領域により、医療関連の幅広い分野に対応しています。

医療情報学部の目標は、高度な医学・医療や生命維持管理装置をはじめとする高度医療機器、さらに健康科学や生命科学に関する深い知識を持ちながら、実践的な高度情報処理技術やデータ解析技術を修得し、人々の健康と福祉に貢献できる人材を育成することです。

専門的な知識・技術の修得に加えて、自律的に問題を発見し、それを他分野の医療技術者と協力して解決に導くコミュニケーション能力、医療に携わる者としての人間性や倫理観を涵養し、それらを総合的に活用できる人材を育成するため、特徴的なカリキュラムが組み立てられています。

学科と専攻

医療情報学科は以下の2つの専攻で構成されています：

・医療情報専攻

診療情報管理、健康科学、医療情報エンジニアなどを主体とする専攻です。診療情報管理領域、健康情報科学領域、医療情報エンジニア領域が設置されています。入学時は領域別のクラス編成をせず、医療情報学科として共通の教育体制で講義や実習を行います。専門ゼミナールを選択する際にいずれかの領域に属することになりますが、領域をまたいだ科目選択も可能です。このため、学科で推奨される各種資格試験については、必要な科目の単位を取得すれば、在学中に複数の資格を取得することができます。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
進級
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
学
部
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録履
修
要
項
の
目
録

・臨床工学専攻

臨床工学技士養成を主体とする専攻です。臨床工学技士領域が設置されており，国家試験合格を最終目標とした独自の教育カリキュラムに沿って学修を進めます。また，本学独自の高度情報処理技術科目を選択して履修することもできます。

カリキュラムの特徴

学修目標を達成するために，以下のような特徴を持つカリキュラムが組まれています：

1. 教養教育科目と専門科目

授業科目は，教養教育科目と専門科目で構成されています。

○教養教育科目

外国語，人文科学，社会科学，自然科学などを学修し，医療に携わる者としての倫理観や広い視野を養います。

○専門科目

医療と情報の両分野を網羅した必要十分な科目を配置しています。医療情報専攻では，3つの領域ごとの履修モデルを設定し，臨床工学専攻では，全員が国家試験合格を目指すカリキュラムを提供しています。

2. 少人数ゼミナール・演習形式

少人数制のゼミナールや演習形式の科目を通じて，問題設定・解決能力とコミュニケーション能力を伸ばします。それぞれの個性や能力，志向に応じた適切なスキルアップの道筋を示し，望む将来像に向けた着実な歩みを支援します。

3. ガイダンスとサポート

学生の興味や関心，将来の希望に応じた適切な科目選択を行うため，スタートアッププログラムなどのガイダンスには必ず出席し，説明を受ける必要があります。

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び
進

級
卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル

付
各
種
規
程
録

履
修
要
項

国
際
情
報
処
理
技
術
科
目

履
修
要
項

教養教育の概要

1. 教養教育で学ぶこと

大学教育の目的は、専門分野に関する知識や技術を修得することにとどまりません。社会の変化が加速し、価値観や課題が複雑化する現代において、大学には、専門性を基盤としながらも、自ら考え、状況を判断し、責任ある行動をとることのできる人材を育成する役割が求められています。

本学が教養教育を重視するのは、そのような人材育成を実現するためです。教養教育は、特定の専門分野に限定されない視点を養い、物事を多角的かつ論理的に捉える力を育成します。こうした力は、専門教育の前提となるだけでなく、専門分野の学修をより深く理解し、社会の中で応用していくための重要な基盤となります。

本学の教養教育では、次に示す能力の育成を重視しています。

- ・ 批判的思考
- ・ 道徳的・論理的推論
- ・ 歴史的・心理的・社会学的視点
- ・ 異文化認識
- ・ 数的処理能力
- ・ リテラシー
- ・ 問題解決能力
- ・ コミュニケーション能力



これらの能力は、それぞれが独立して存在するものではなく、相互に関連し合いながら発揮されます。そのため、教養教育科目には、特定の能力の基礎を体系的に養う科目と、複数の能力を横断的に育成する科目が設けられています。学生の皆さんには、こうした科目を通じて、自身の思考の枠を広げ、専門分野の学修に必要な判断力や表現力を段階的に身につけてほしいと考えています。

また、教養教育は、知識を蓄積すること自体を目的とするものではありません。多様な価値観や背景を持つ人々と向き合い、協働する過程の中で、得た知識や考え方をどのように活用するかを考える学びでもあります。教養教育で培われる視点や判断力は、専門分野の枠を超えた課題に直面した際にも、冷静で柔軟な対応を可能にする力となります。

本学の教養教育は、専門教育と相互に補完し合いながら、学生一人ひとりの学びを支える重要な柱として位置づけられています。教養教育を通じて得た力を、専門分野の学修に生かすとともに、将来の社会的・職業的活動へと着実につなげていくことを期待しています。

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び
進

級
卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の
履
修
モ
デ
ル
各
種
規
程
・
履
修
課
程
の
概
要
・
履
修
課
程
の
要
項
・
履
修
課
程
の
要
項
・
履
修
課
程
の
要
項

2. 教養教育の目的と目標

北海道情報大学の教養教育は、「情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材の育成」を目的として、特色ある教養教育を行っています。みなさんが目指す人材像とそのため獲得してもらいたい能力(コンピテンシー)を表1にまとめました。表2に示すように、この人材像とコンピテンシーは、北海道情報大学のディプロマ・ポリシーと関連付けられています。コンピテンシーのA, Bは、クリティカルシンキングの養成, C, Dはコミュニケーション力の養成にかかわるものです。これらを目標とし、3つの生活圏の難問を解決する力を身につけ、生涯にわたって主体的に学ぶ力を培ってください。

表1 教養教育の人材像とコンピテンシー

人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
(e)	学ぶ意義を理解できる人材
教養教育のコンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会生活への展望をもつことができる。
E	クリティカルシンキング（批判的思考）により、主体的に学びを深めることができる

表2 教養教育の人材像とコンピテンシー

教養教育の コンピテンシー	北海道情報大学のディプロマ・ポリシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥
A						●
B						●
C			●			
D				●		
E	●					

北海道情報大学のディプロマ・ポリシー	
①	生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
②	IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
③	国際感覚やモラルなど豊かな人間性
④	コミュニケーションとプレゼンテーション能力
⑤	自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
⑥	知識のみではなく生きるための知恵

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
績
び
進

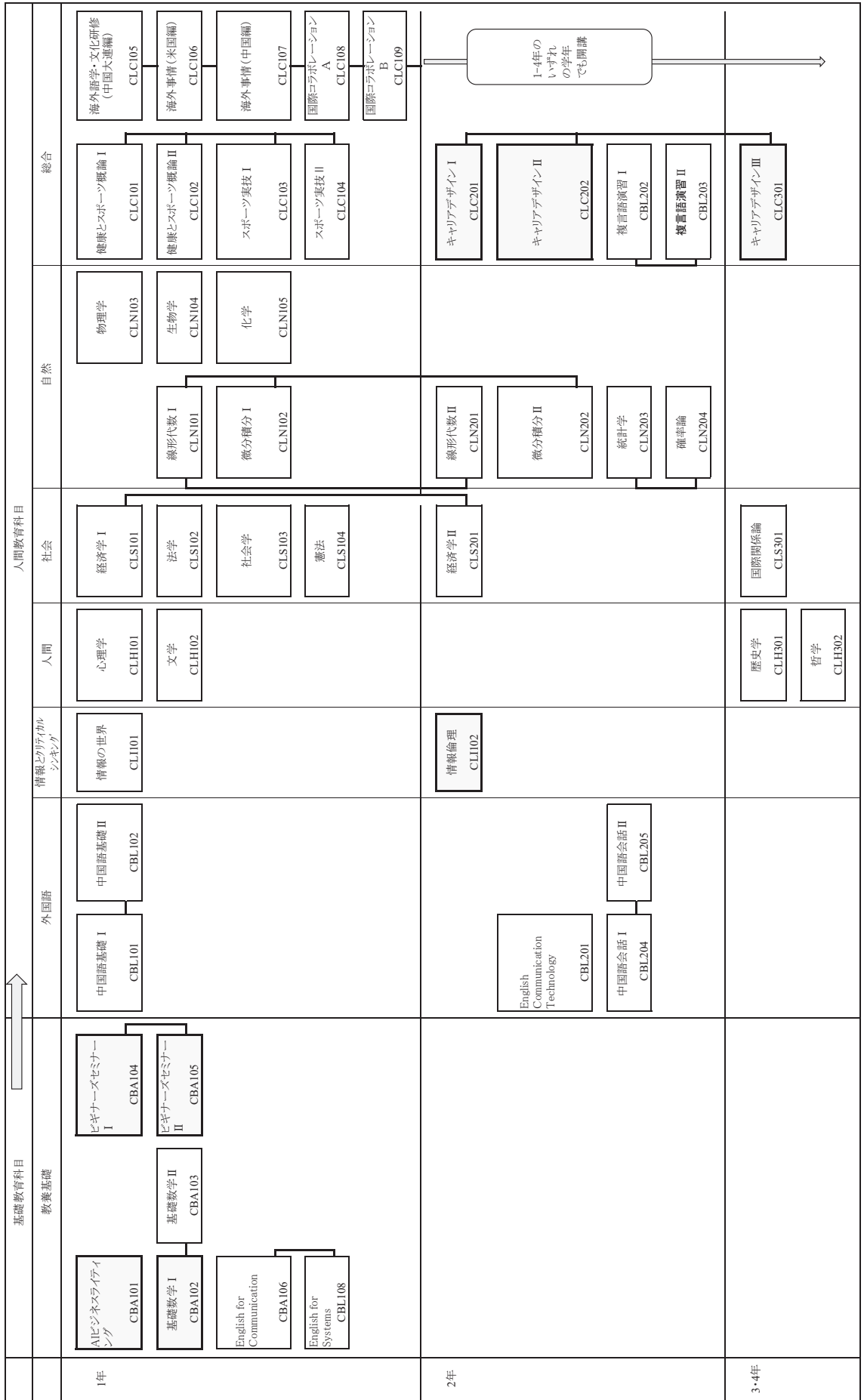
級
卒

業
教
職
課
程
留
そ
意
の
事
他
項
の
履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
要
各
種
規
程
録
・
履
修
課
程
の
要
要
情
報

教養教育科目履修系統図 医療情報学部 医療情報学科 医療情報専攻

単位制度
授
業
カリキュラム
履修登録
成績および
進
級
卒業
業
教職課程
留
意
の
事
項
履修モデル
付各種規程
履修要項

教養教育科目履修系統図 (医療情報学部 医療情報学科 医療情報専攻) (2026年度入学生～)



上段は科目名、下段はナンバリング

選択科目

必修科目

教養教育科目履修系統図課【外国人留学生】 医療情報学部 医療情報学科 医療情報専攻

教養教育科目履修系統図【外国人留学生】(医療情報学部 医療情報学科 医療情報専攻) (2026年度入学生～)

	人間教育科目					総合	
	基礎教育科目	外国語	情報とデジタルシキョウ	人間	社会	自然	総合
1年	AIビジネスライティング CBA101 ビジネスセミナーI CBA104 基礎数学I CBA102 基礎数学II CBA103 English for Communication CBA106 English for Systems CBL108	日本語I CBL101 日本語II CBL102 日本語III CBL103	情報の世界 CLI101	心理学 CLH101 文学 CLH102	経済学I CLS101 法学 CLS102 社会学 CLS103 憲法 CLS104	物理学 CLN103 生物学 CLN104 化学 CLN105 線形代数I CLN101 微分積分I CLN102	健康とスポーツ概論I CLC101 健康とスポーツ概論II CLC102 スポーツ実技I CLC103 スポーツ実技II CLC104
2年		日本語IV CBL201 English Communication Technology CBL201	情報倫理 CLI102		経済学II CLS201	線形代数II CLN201 微分積分II CLN202 統計学 CLN203 確率論 CLN204	キャリアデザインI CLC201 キャリアデザインII CLC202 複言語演習I CBL202 複言語演習II CBL203 日本事情 CLC203
3・4年				歴史学 CLH301 哲学 CLH302	国際関係論 CLS301		キャリアデザインIII CLC301

上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

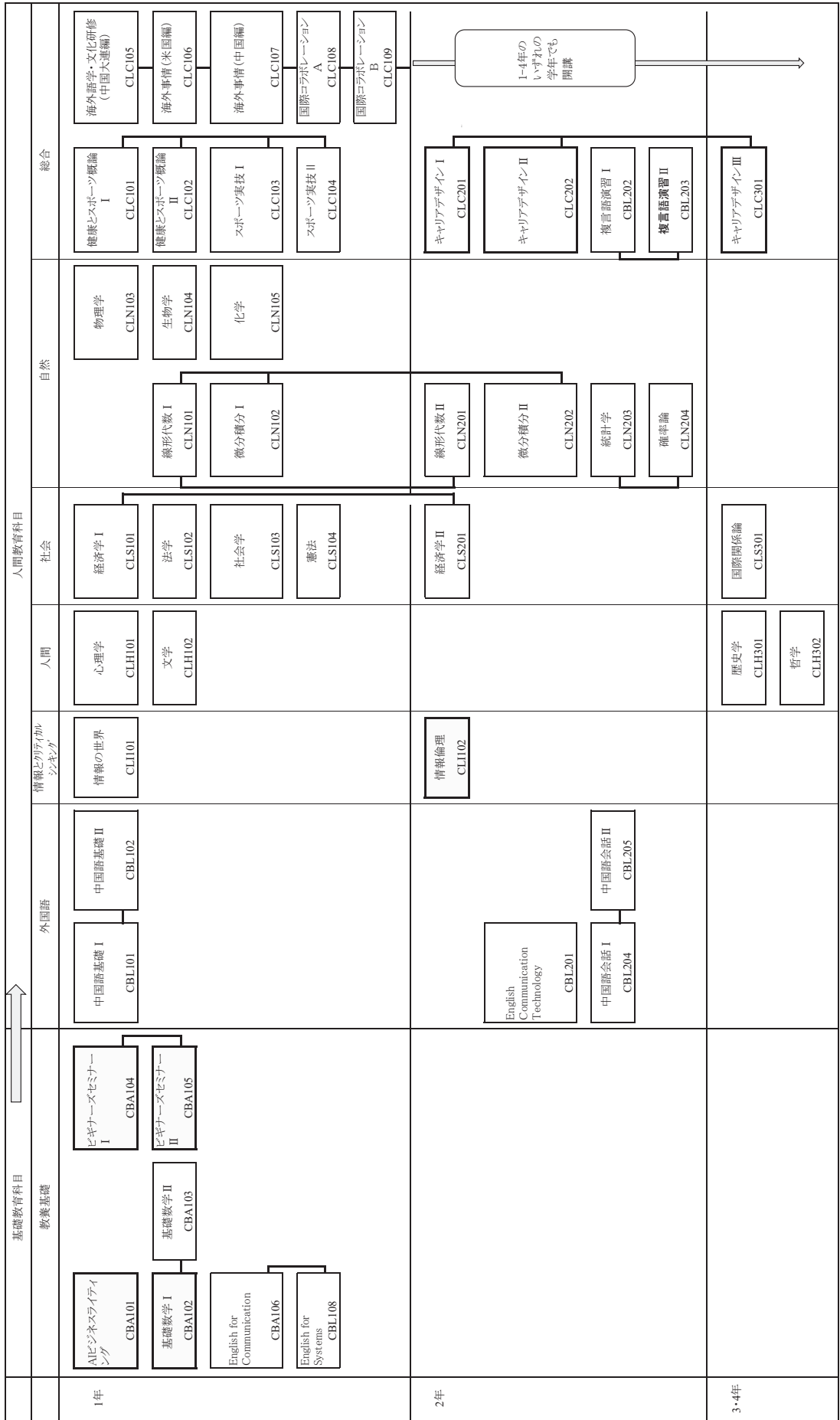
必修科目

単位制度授
業カリキキラム
履修登録
成績および進
級卒
業教職課程
留その事項の履修モデル
付各種規程
録・履修要項
国際情報ム報

教養教育科目履修系統図 医療情報学部 医療情報学科 臨床工学専攻

単位制度
授
業
カリキュラム
履修登録
成績および
進
級
卒業
業
教職課程
留
意
の
事
項
履修モデル
付各種規程
履修要項

教養教育科目履修系統図 (医療情報学部 医療情報学科 臨床工学専攻) (2026年度入学生～)



上段は科目名；下段はナンバリング
選択科目
必修科目

教養教育科目履修系統図【外国人留学生】 医療情報学部 医療情報学科 臨床工学専攻

教養教育科目履修系統図【外国人留学生】(医療情報学部 医療情報学科 臨床工学専攻) (2026年度入学生～)

	基礎教育科目		人間教育科目				総合	
	基礎基礎	外国語	情報とデジタルシンキング	人間	社会	自然	総合	
1年	AIビジネスライティング CBA101 ビジネスセミナー I CBA104 基礎数学 I CBA102 基礎数学 II CBA103 English for Communication CBA106 English for Systems CBL108	日本語 I CBL101 日本語 II CBL102 日本語 III CBL103	情報の世界 CLI101	心理学 CLH101 文学 CLH102	経済学 I CLS101 法学 CLS102 社会学 CLS103 憲法 CLS104	物理学 CLN103 生物学 CLN104 化学 CLN105 線形代数 I CLN101 微分積分 I CLN102	健康とスポーツ概論 I CLC101 健康とスポーツ概論 II CLC102 スポーツ実技 I CLC103 スポーツ実技 II CLC104	
2年		日本語 IV CBL201 English Communication Technology CBL201	情報倫理 CLI102		経済学 II CLS201	線形代数 II CLN201 微分積分 II CLN202 統計学 CLN203 確率論 CLN204	キャリアデザイン I CLC201 キャリアデザイン II CLC202 複言語演習 I CBL202 複言語演習 II CBL203 日本事情 CLC203	
3・4年				歴史学 CLH301 哲学 CLH302	国際関係論 CLS301		キャリアデザイン III CLC301	

上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

必修科目

単位制度授
業カリキコラム
履修登録
成績および進
級卒
業教職課程
留その事項の履修モデル
付各種規程
録・履修要項
国際情報ム報

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ
 及びコンピテンシーマップ（教養教育） 医療情報学科（2026年度入学生～）

単位制度
 授業
 カリキュラム
 履修登録
 成績および進級卒業
 教職課程
 留意事項
 履修モデル
 付各種規程
 履修要項

科目名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C	D	E	
授業科目の概要	基礎教育科目	教養基礎	AIビジネスライティング		○				○	○		
			基礎数学Ⅰ					○	○			
			基礎数学Ⅱ					○	○	○		
			English for Communication			○	○				○	○
			English for Medicine			○	○				○	○
			ビギナーズセミナーⅠ	○	○				○	○		
		ビギナーズセミナーⅡ	○	○		○		○	○		○	
		外国語	English Communication Technology			○	○				○	○
			中国語基礎Ⅰ			○	○				○	○
			中国語基礎Ⅱ			○	○				○	○
			中国語会話Ⅰ			○	○				○	○
		人間教育科目	情報とクリティカルシンキング	情報の世界	○	○		○		○		○
	情報倫理			○			○		○		○	○
	人間		心理学				○		○			○
			文学			○			○		○	
			歴史学			○					○	
			哲学						○	○		
	社会		経済学Ⅰ						○	○		
			経済学Ⅱ						○	○		
			法学						○	○		
			社会学						○	○		
			憲法						○	○		
	自然教育科目		国際関係論			○			○	○		○
		自	線形代数Ⅰ					○	○			
			線形代数Ⅱ					○	○			
			微分積分Ⅰ					○	○			
			微分積分Ⅱ					○	○			
			統計学					○	○			
			確率論					○	○			
			物理学					○	○			
然		生物学					○	○				
		化学					○	○				
		総	複言語演習Ⅰ			○	○				○	○
	複言語演習Ⅱ				○	○				○	○	
健康とスポーツ概論Ⅰ					○		○			○		
健康とスポーツ概論Ⅱ					○		○			○		
スポーツ実技Ⅰ					○		○			○		
スポーツ実技Ⅱ					○		○			○		
海外語学・文化研修（中国大連編）				○	○				○	○		
海外事情（米国編）				○	○				○	○		
海外事情（中国編）				○	○				○	○		
国際コラボレーションA				○	○				○	○		
国際コラボレーションB			○	○				○	○			
合	キャリアデザインⅠ	○			○					○	○	
	キャリアデザインⅡ	○			○					○	○	
	キャリアデザインⅢ	○					○	○			○	
	留学生向け科目	日本語Ⅰ			○	○				○	○	
		日本語Ⅱ			○	○				○	○	
		日本語Ⅲ				○					○	
日本語Ⅳ					○					○		
日本事情				○	○				○	○		